



ホスティングサービス(web) 管理者操作マニュアル

第 1.0 版

鉄道情報システム株式会社

目次

1.サーバの仕様.....	1
1.1. ホスティングサービス(Web)ご利用時の注意点.....	2
1.2. サーバの仕様について.....	3
2.各種設定方法.....	4
2.1. ディレクトリ構成.....	5
2.2. Web アクセスログファイル.....	6
2.3. Web サイトアクセス統計ファイル.....	7
2.4. 各種 FTP ソフトウェア設定方法.....	8
2.5. CGI.....	14
2.6. SSI.....	15
2.7. 推奨パーミッション.....	16
2.8. .htaccess.....	17
2.9. データベース.....	19
2.10. ホスティングサービス管理画面.....	20

1. サーバの仕様

ホスティングサーバの仕様について記載しています。

- 1.1 ホスティングサービス (Web) ご利用時の注意点
- 1.2 サーバの仕様について

1.1. ホスティングサービス(Web)ご利用時の注意点

➤ サービス利用制限について

- 高負荷の CGI の多数動作・長時間起動等、サーバの負荷が高まる恐れがある場合
- コンテンツの内容が公序良俗に反する等、規約で禁止されている行為を行った場合

上記に該当した場合、本サービスのご利用を一時的に制限することがあります。

例：実行プロセスの強制終了

CGI の利用停止

サービスアカウントの停止

詳細はホスティングサービス利用規約をご覧ください。

(https://www1.cyberstation.ne.jp/kiy_main_hosting.htm)

➤ CGI のご利用について

CGI のご利用方法（CGI スクリプトの記述方、実行エラーの解決方法、動作等）は、弊社ではサポートはいたしません。CGI の作成元へお問い合わせ下さい。

➤ データベースのご利用について

データベース（MySQL）のご利用は、弊社ではサポートはいたしません。お客様の責任においてご利用下さい。

1.2. サーバの仕様について

- OS
CentOS 5

- Web サーバ

Web サーバの種類	Apache2
CGI	Perl / Ruby / PHP / Python ※ImageMagick 利用可能(Perl、PHP)
SSI	利用可能 ※exec, cmd によるコマンド実行は不可
.htaccess	利用可能 ※Options の指定は不可
mod_rewrite	利用可能
アクセスログ	combined 形式。1 週間分のログを過去 10 件保存
エラーログ	1 週間分のログを過去 10 件保存
アクセス統計	月初から月末までのアクセス解析を翌月 1 日に実施(analog) 1 年分のアクセス解析結果を保存
デフォルトドキュメント	index.cgi、index.pl、index.php、index.py、index.rb、index.html、index.htm
文字コード	UTF-8

- FTP サーバ

FTP サーバの種類	Vsftpd
PASV モード接続	利用可能
匿名 FTP	利用不可

- データベースサーバ (ご利用を希望された方のみ)

データベースサーバ	MySQL5 系
MySQL テーブル形式	MyISAM
データベース管理ツール	phpMyAdmin

- データの保護

弊社では、データの保護を極力図るよう取り組んでおりますが、万一のデータ消失に備え、ホームページやデータベースのデータについて、お客様にて定期的にバックアップを取得して下さいますようお願い申し上げます。

2.各種設定方法

ホスティングサービスの機能や使用方法についての説明です。

- 2.1 ディレクトリ構成
- 2.2 Web アクセスログファイル
- 2.3 Web サイトアクセス統計ファイル
- 2.4 各種 FTP ソフトウェア設定
- 2.5 CGI
- 2.6 SSI
- 2.7 推奨パーミッション
- 2.8 .htaccess
- 2.9 データベース
- 2.10 ホスティングサービス管理画面

2.1. ディレクトリ構成

ホスティングサーバ内のディレクトリ構成についてご説明します。

初期状態では、ディレクトリは以下の構成になっています。

```
/home/ユーザ ID ( ホームディレクトリ )
|
|---/www [ 705 (drwx---r-x) ] ( ホームページ用ディレクトリ )
|
|---/log [ 755 (drwxr-xr-x) ] ( アクセスログ用ディレクトリ )
```

➤ /home/ユーザ ID (ホームディレクトリ)

お客様のホームディレクトリです。

Web サーバに FTP 接続した際、最初に表示されるディレクトリです。

このディレクトリには、ファイルを配置することは出来ません。

➤ /home/ユーザ ID/www (ホームページ用ディレクトリ)

Web サイトのルートディレクトリです。

ブラウザから参照する際のアドレスは `http://www.ドメイン名/` または `http://ドメイン名/` となります。

HTML ファイル名を指定せずにアクセスした場合のデフォルトドキュメントは、`index.cgi`、`index.pl`、`index.php`、`index.py`、`index.rb`、`index.html`、`index.htm` (表示優先度順) となります。

ファイルのパーミッションについては「2.7 推奨するパーミッション」をご覧ください。

➤ /home/ユーザ ID/log (アクセスログ用ディレクトリ)

Web サイトのアクセスログ出力用ディレクトリです。

アクセスログ、エラーログ及びアクセス統計ファイルが自動作成されます。

詳細は「2.2 Web アクセスログファイル」をご覧ください。

【注意】

このディレクトリをブラウザから参照することはできません。

本ディレクトリ配下にファイルを作成・変更・削除することはできません。

2.2. Web アクセスログファイル

Web アクセスログファイルについてご説明します。

➤ アクセスログ用ディレクトリ

Web サイトのアクセスログファイルは/log ディレクトリに保存されます。

➤ アクセスログ

Web サイトのアクセスログです。

出力されるファイル形式は次の通りです。

ファイル名	access_log.YYYYMMDD ※YYYYMMDD ... ファイル切り替わり日付
詳細情報	1 ファイルに 1 週間分のアクセスログが記載される 毎週日曜に切り替わり 過去 10 件分を保存

アクセスログのフォーマット(apache の combined 形式)は以下のようになっています。

(アクセス元 IP アドレス) - - [(アクセス日付)] " (リクエスト) " (Status) (bytes) " (リファラー) "
" (UserAgent) "

【アクセスログファイル内容サンプル】

```
192.168.0.1 - - [08/Mar/2010:15:43:44 +0900] "GET /bbs/bbs.cgi HTTP/1.1"
200 525 "-" "Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 8.0; Windows NT 5.1;
Trident/4.0; .NET CLR 1.1.4322)"
```

➤ エラーログ

Web サイトのエラーログです。ページが正常に表示されない場合や CGI の実行がうまくいかない場合など、エラーログを参照することで原因が特定できることがあります。

出力されるファイル形式は次の通りです。

ファイル名	error_log.YYYYMMDD ※YYYYMMDD ... ファイル切り替わり日付
詳細情報	1 ファイルに 1 週間のエラーログが記載される 毎週日曜に切り替わり 過去 10 件分を保存

エラーログのフォーマットは以下のようになっています。

[(日付)] [error] [client (アクセス元 IP アドレス)] (エラー内容)

【エラーログファイル内容サンプル】

```
[Wed Mar 17 18:25:39 2010] [error] [client 192.168.0.1] File does not exist:
/home/example/www/index.html
```

2.3. Web サイトアクセス統計ファイル

Web サイトアクセス統計ファイルについてご説明します。

Web サイトのページアクセス数、アクセス元等を集計した統計情報が月 1 回/log ディレクトリに作成されます。

以下の統計情報結果が記述されます。

- 月別・日別・参照元レポート
- 曜日別・時間別集計

ファイル名	analog.log [MM]
詳細情報	毎月 1 日に前月分の統計ファイルを自動作成 過去 12 件分(1 年分)まで保存 MM … 統計対象月(01~12)

【アクセス統計ファイル内容サンプル】

<pre> ウェブサーバの統計 example.jp ===== 統計開始日時：2010年 3月 01日(水) 00時 10分. 解析対象期間：2010年 2月 01日(月) 17時 16分 ~ 2010年 2月 28日(日) 16時 56分 (3.99日). ----- 全体の概要 ----- このレポートは、全体の統計を表します。 リクエスト成功件数: 11,771 上記の日別平均: 2,952 ページリクエスト成功件数: 3,008 上記の日別平均: 754 リクエスト不成功件数: 1,177 リクエストリダイレクション件数: 139 異なるリクエストファイル数: 983 異なるサービスホスト数: 5 不必要ログ項目数: 685,709 データ転送量: 71.99 メガバイト 上記の日別平均: 18.06 メガバイト ----- 月別レポート ----- このレポートは、月別の統計を表します。 1 単位 (+) は 150 ページリクエスト件数 あるいはその値未満を表す。 月: リクエスト件数: ページ数: -----:-----:-----: 2010年 2月: 11771: 3008: ++++++ : </pre>

2.4. 各種 FTP ソフトウェア設定方法

FTP ソフトを使用してサーバに接続する際の設定方法をご説明します。

代表的な FTP ソフトウェアである「FFFTP」、「WinSCP」、「Fetch4」の設定方法についてご説明します。

➤ 設定情報

FTP ソフトウェアに設定する FTP ホスト名、FTP ユーザ名、FTP パスワードは、ホスティングサービス登録完了通知書をご覧ください。

ここでは下記の設定内容を例として説明します。

- ドメイン名：example.jp
- FTP ユーザ名：example
- FTP パスワード：*****

詳細な設定方法は各 FTP ソフトウェアの製品マニュアルをご覧ください。

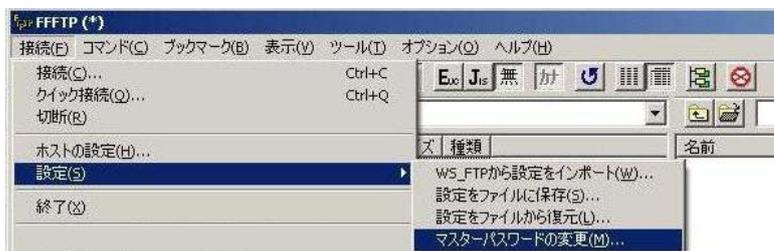
➤ FFFTP ver.1.97a(Windows)

(1) マスターパスワードの設定 (FFFTP ver.1.97a 以降のみ必要)

マスターパスワードとは、サイトの改ざんなどを防止するために必要な FTP ソフトウェアの設定です。

初回起動時に、ツールバーの「接続」→「マスターパスワードの設定」からお好きな文字列をマスターパスワードを設定して下さい。

次回以降は、FFFTP 起動時にマスターパスワードの入力が求められるので入力して下さい。



(2) 起動

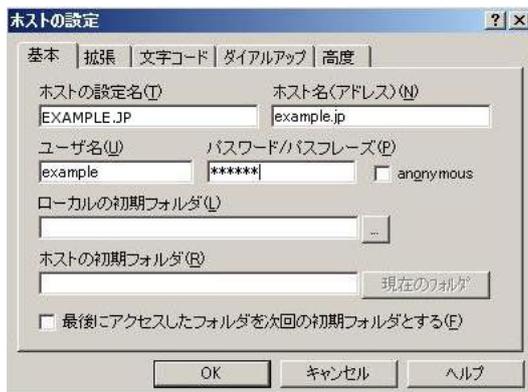
起動すると、ホスト一覧が表示されるので(またはツールバーの「接続」→「接続」)、「新規ホスト」ボタンをクリックします。



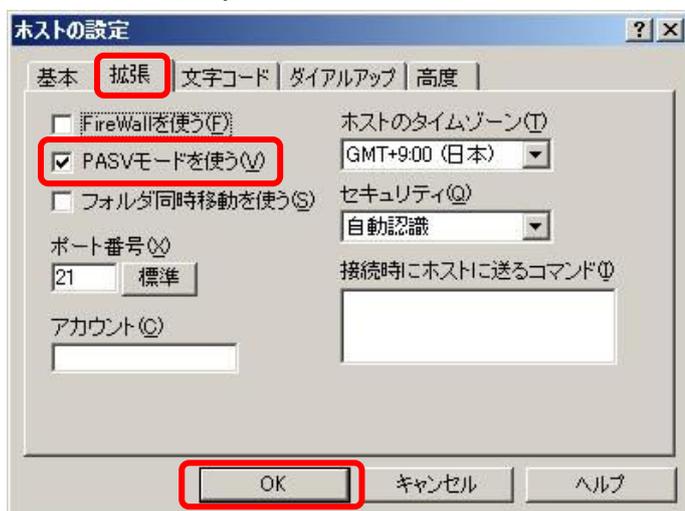
(3) 新規ホストの登録

「ホストの設定名」に好きな名前を入力します。(例：EXAMPLE.JP)

「ホスト名」にはご利用のドメイン名、「ユーザ名」に FTP ユーザ名、「パスワード/パスフレーズ」に FTP パスワードを入力します。



「拡張」タブをクリックし、「PASV モードを使う」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックして下さい。



(4) 接続

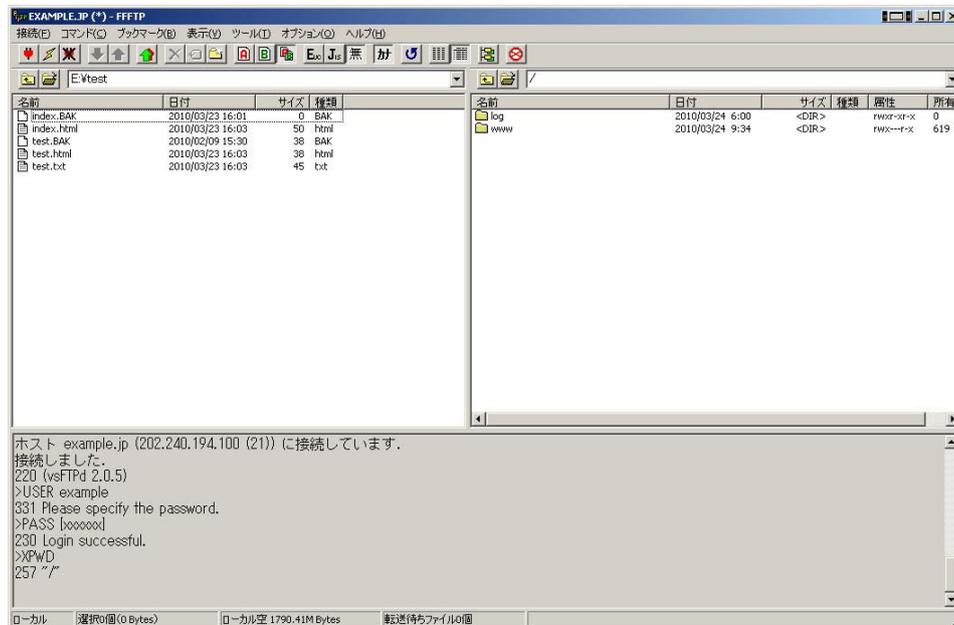
設定したホスト名(例：EXAMPLE.JP)を選択し、「接続」ボタンをクリックすると接続することが出来ます。



(5) アップロード・ダウンロード

アップロードしたいファイルを選択し、ツールバーの「コマンド」→「アップロード」をクリック(またはドラッグアンドドロップ)することで、ご自分の **www** ディレクトリにファイルをアップロードすることが出来ます。

同様に、Web サーバ上のダウンロードしたいファイルまたはディレクトリを選択し、「コマンド」→「ダウンロード」をクリック(またはドラッグアンドドロップ)することでファイルをダウンロードすることが出来ます。



➤ WinSCP ver.4 (Windows)

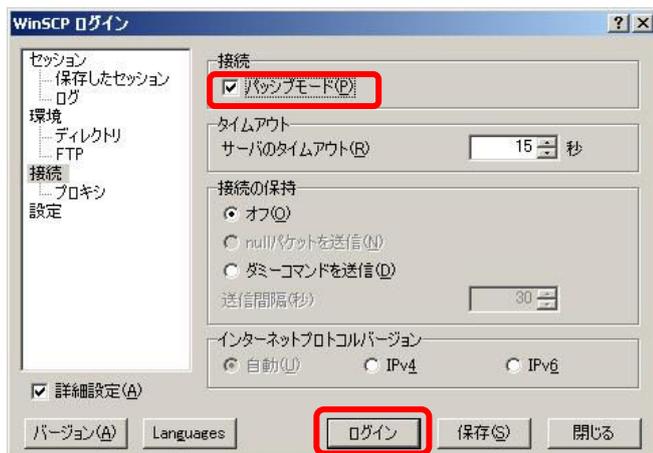
(1) 起動・新規登録

起動すると、「新規」ボタンをクリックすると下記のウィンドウが表示されます。

「ホスト名」にご利用のドメイン名、「ユーザ名」に **FTP** ユーザ名、「パスワード」に **FTP** パスワードを入力します。



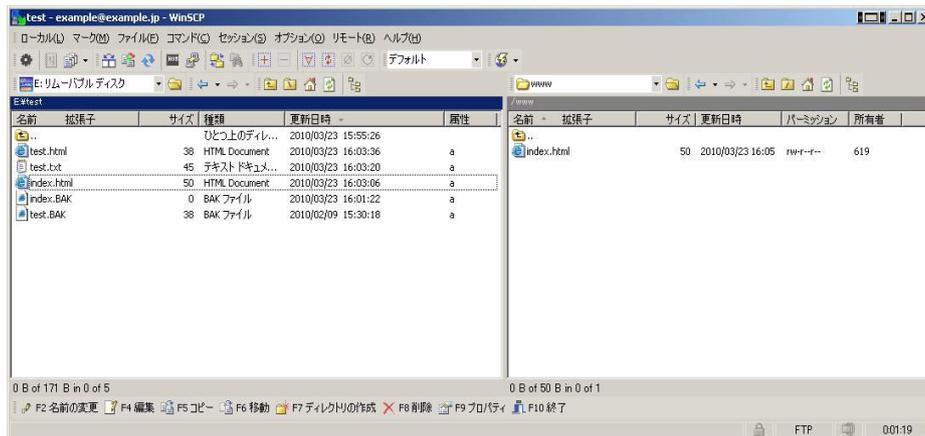
次に左側の「接続」をクリックし、「パッシブモード」にチェックを入れ、「ログイン」ボタン(または「保存」ボタン)をクリックして下さい。



(2) アップロード・ダウンロード

アップロードしたいファイルをドラッグアンドドロップすることで、ご自分の www ディレクトリにファイルをアップロードすることができます。

同様に、Web サーバ上のダウンロードしたいファイルまたはディレクトリをドラッグアンドドロップすることでファイルをダウンロードすることができます。

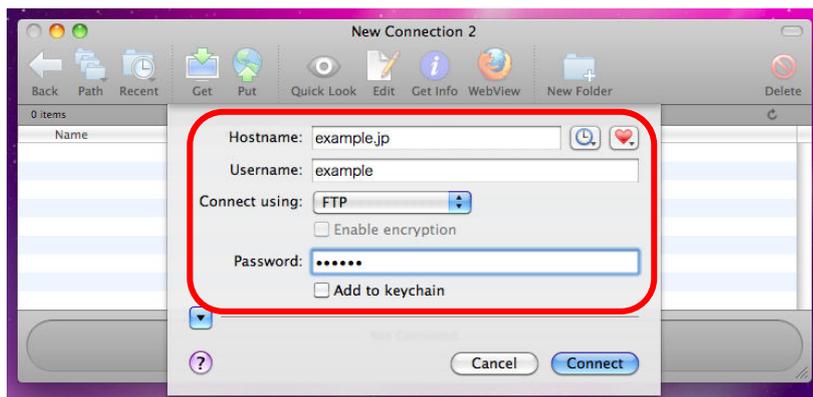


➤ Fetch ver.5 (Macintosh)

(1) 接続設定

起動すると接続の設定を入力するウィンドウが出ます。

「Hostname」、「Username」、「Password」にご利用のドメイン名、ユーザ名、パスワードを入力して下さい。

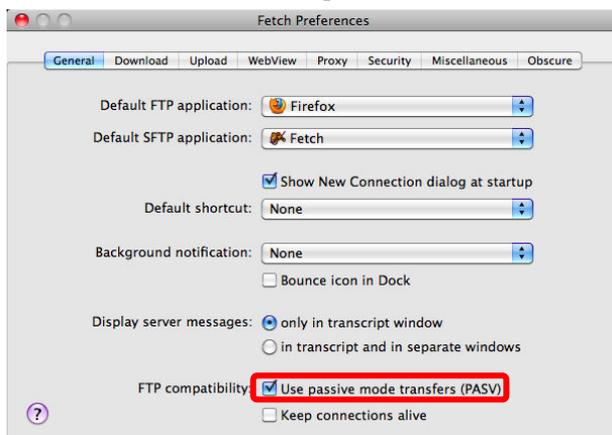


(2) PASV モードの設定

画面左上の「Fetch」から「環境設定」をクリックします。

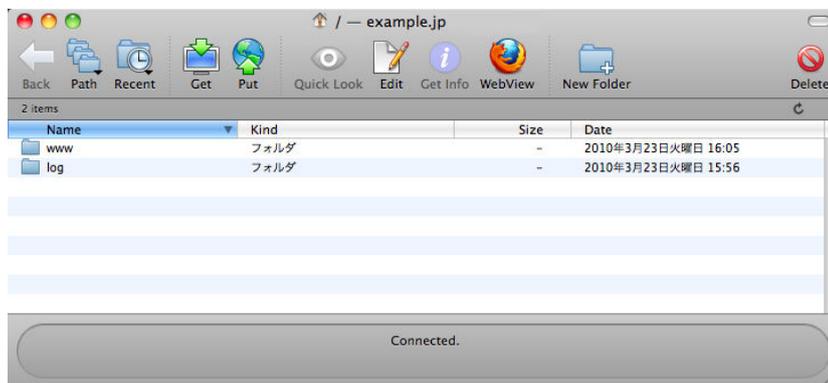


「General」タブの「Use passive mode transfer」にチェックを入れて下さい。



(3) 接続

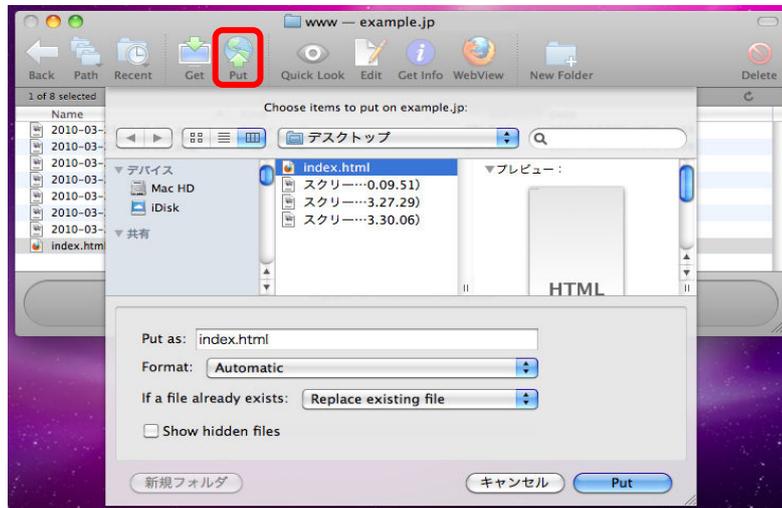
接続すると、Web サーバ側のファイルとディレクトリが表示されます。



(4) アップロード・ダウンロード

ローカルディレクトリから、アップロードしたいファイルまたはフォルダを選択し「Put」ボタンをクリックすることでアップロードすることが出来ます。

ダウンロードは「Get」ボタンをクリックして同様に行うことが出来ます。



2.5. CGI

CGI についてご説明します。

【注意】

- サービス利用制限について
高負荷の CGI を多数動作させたり、長時間起動し続けるなど、サーバの負荷が高まる恐れがある場合、また、コンテンツの内容が公序良俗に反する等、規約で禁止されている行為を行った場合、本サービスのご利用を一時的に制限する場合があります。
例：実行プロセスの強制終了
CGI の利用停止
サービスアカウントの停止
詳細はホスティングサービス利用規約をご覧ください。
(https://www1.cyberstation.ne.jp/kiy_main_hosting.htm)
- CGI はお客様のユーザ ID にて動作します。
- サーバ文字コードは UTF-8 です。意図しない不具合を起こさない為にも、文字コードを UTF-8 にすることを推奨します。

➤ CGI の基本設定

使用出来る言語及びパスは以下の通りです。

使用可能言語	バージョン	スクリプトの 1 行目に記載するパス	動作する拡張子
Perl	Perl (5.8)	<code>#!/usr/bin/perl</code>	<code>.pl</code> 、 <code>.cgi</code>
Ruby	Ruby (1.8)	<code>#!/usr/bin/ruby</code>	<code>.rb</code> 、 <code>.cgi</code>
Python	Python (2.4)	<code>#!/usr/bin/python</code>	<code>.py</code> 、 <code>.cgi</code>
PHP (CGI モードで動作)	PHP (5.2.12)	記載不要	<code>.php</code>

サーバにインストールされていないライブラリは、CGI スクリプトと合わせてアップロードすることで動作する場合があります。

➤ CGI からのメール送信

sendmail コマンドまたは、各言語の smtp モジュールを利用してメール送信することが出来ます。

sendmail のパス	<code>/usr/sbin/sendmail</code>
--------------	---------------------------------

メール送信に関して、以下の点にご注意下さい。

- メール送信先サーバは必ず `localhost` を設定して下さい。
- 外部メールサーバへ直接送信することは出来ません。
- 送信者(エンベロープ **FROM**、メールヘッダ **FROM**)はご利用のドメイン名と一致していない場合、送信出来ません。
- `sendmail` コマンドをご利用の場合、必ず `-f` オプション(送信者のメールアドレス設定)を正しく設定して下さい。

2.6. SSI

SSI についてご説明します。

➤ SSI について

HTML 文書の中にコメントタグとして SSI のコマンドを記載することで、いろいろな動作が実現されます。SSI の具体的な書式については、関連書籍やインターネット上の解説ページなどをご参照下さい。拡張子が .shtml、.shtm 以外では正常に動作しません。

➤ 利用可能 SSI コマンド

SSI コマンド	備考
echo var	環境変数を表示します。
include file	ファイルを読み込んで内容を表示します。
include virtual	
config timefmt	時刻表示のフォーマットを変更します。
config sizefmt	ファイルサイズ表示のフォーマットを変更します。
flashmod file	ファイルの最終更新時刻を表示します。
flashmod virtual	
fsize file	ファイルサイズを表示します。
fsize virtual	
exec	利用出来ません。

2.7. 推奨パーミッション

ここではディレクトリやファイルのパーミッションに関する説明をします。
パーミッションとは、ファイルやディレクトリに対するアクセス権限のことです。

ホスティングサーバに使用している OS (UNIX 系 OS) では自分以外の使用者に自分のファイルを不正に操作されないために、ファイルに対してアクセスの権限を設定することができます。これは複数のユーザでサーバを共有できるように作られているために必要な仕様です。

パーミッションの設定が正しく行われていないと他ユーザからファイルの参照、更新、削除が可能になります。正しいパーミッションを設定してご利用下さい。

➤ 権限の種類

パーミッションの設定では、そのファイルの所有者・そのファイルの所有者と同じグループに属しているユーザー・その他の第三者のそれぞれに対し、ファイルの内容を読み取る権限(**R**ead)・ファイルに内容を書き込んだり削除する権限(**W**rite)・ファイルをプログラムとして実行する権限(**eX**ecute)を個別に設定することができます。

それぞれの権限は上記の権限の太字で表記します。

さらに、アルファベットではなく数字で表記することもあります。数字はアルファベット表記の r を 4、w を 2、x を 1、- を 0 と数え、対象のユーザーごとにその数を合計したものになります。

例) 所有者のみに読み取り(r)・書き込み(w)・実行(x)の権限を与え、グループと第三者には読み取り(r)の権限だけを与える場合

対象のユーザ	所有者	グループ	第三者
パーミッションの表記(アルファベット)	rwx	r--	r--
パーミッションの表記(数字)	7 (4+2+1)	4 (4+0+0)	4 (4+0+0)

➤ パーミッションの設定方法

ホスティングサーバ上に置かれているファイルやディレクトリのパーミッションは FTP ソフトウェアで設定することが出来ます。

設定方法はご利用の FTP ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

➤ 推奨パーミッション

パーミッションを以下の値に設定してご利用いただくようお願いします。

グループに対してアクセス権を与えることはセキュリティの低下につながります。セキュリティを強化するために、不要なアクセス権限を与えないようにして下さい。

【注意】

パーミッション値を 777 (rwxrwxrwx) とした CGI プログラムは動作しません。

パーミッションは以下に設定することを推奨します。

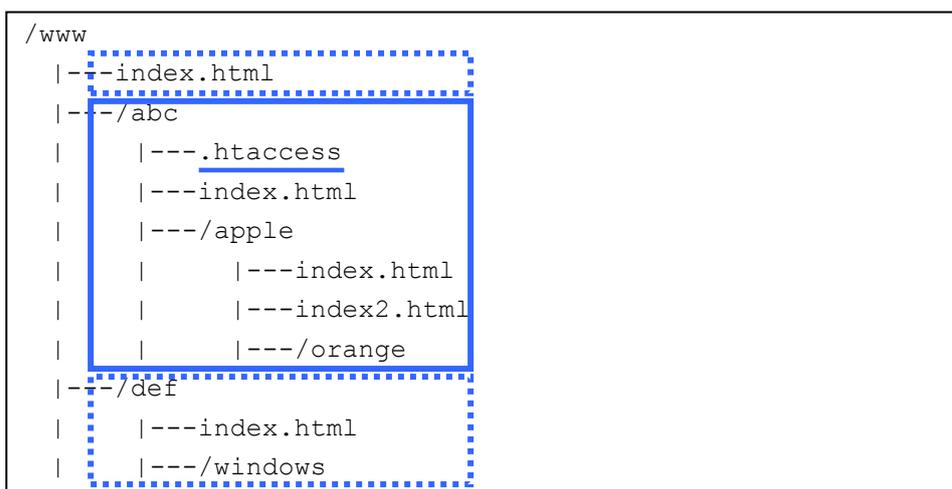
項目	設定するパーミッション値
ディレクトリ	705 (rwx---r-x)
HTML・画像ファイル等	604 (rw----r--)
CGI の実行ファイル	700 (rwx-----)
CGI のデータファイル	600 (rw-----)
.htaccess ファイル	604 (rw----r--)

2.8. .htaccess

.htaccess ファイルのご利用方法について説明します。

.htaccess ファイルとは、Web アクセスに関わる設定を行えるファイルです。

/www/abc ディレクトリに.htaccess ファイルを置いた場合、設定が適用される範囲は下図の実線で囲まれた部分です。(点線で囲まれた部分には設定が適用されません。)



.htaccess ファイルはブラウザで参照出来ない様に設定されています。以下、一般的な.htaccess の設定方法を記述します。

ここで紹介する機能以外にもさまざまな機能が.htaccess ファイルで実現出来ますので、.htaccess に関するホームページ等を参照して下さい。

➤ ユーザ認証によるアクセス制限方(BASIC 認証)

認証ダイアログを表示してパスワードによるアクセス制限をかけることが出来ます。

(1) .htaccess ファイルの作成

.htaccess ファイルに以下を記述します。

```

AuthUserFile /home/(ユーザ ID)/www/abc/.htpasswd (*1)
AuthName "please input password!" (*2)
AuthType Basic
require valid-user
  
```

(*1) .htpasswd ファイルの配置場所をフルパスで記載します。

(*2) パスワードログインダイアログに表示されます。

(2) .htpasswd ファイルの作成

.htpasswd ファイルには認証に利用する、ユーザ名と暗号化されたパスワード文字列を記載します。記載する文字列は、ホスティングサービス管理者画面の「.htpasswd 記載文字列生成」ページで生成することが出来ます。

ログインするユーザ名を「test」とした場合の.htpasswd ファイルを以下に記述します。

```
test:$apr1$UruvzG00$616epOk8gj5FtZjmeAY1T/
```

(3) ファイルのアップロード

作成した.htaccess、.htpasswd の 2 ファイルを認証したいディレクトリにアップロードします。

(4) 確認

ブラウザからディレクトリ配下にアクセスすると、認証ダイアログが表示されることを確認します。



➤ 特定の IP アドレスからのアクセス拒否

.htaccess ファイルに以下を記述して、アップロードします。

```
order allow,deny  
allow from all  
deny from XXX.XXX.XXX.XXX (*1)
```

(*1) アクセスを拒否したい IP アドレスを記載します。

➤ 特定の IP アドレスからのみアクセス許可

.htaccess ファイルに以下を記述してアップロードします。

```
order deny,allow  
deny from all  
allow from XXX.XXX.XXX.XXX (*1)
```

(*1) アクセスを許可したい IP アドレスを記載します。

2.9. データベース

データベースの利用方法について説明します。(※希望された方のみご利用頂けます。)

データベースのバージョン	MySQL 5 系
--------------	-----------

➤ **設定情報**

データベースご利用時に必要なデータベース名、データベース操作画面ユーザ名、データベース操作画面パスワードは、ホスティングサービス登録完了通知書をご覧ください。(データベース名はデータベース操作画面ユーザ名と同一です。)

➤ **データベース操作**

Web から phpMyAdmin による操作が出来ます。

phpMyAdmin は、ホスティングサービス管理画面のリンクよりご利用頂けます。

2.10. ホスティングサービス管理画面

ホスティングサービス管理画面から、以下のことが行えます。
アクセスする際、管理画面ログイン ID と管理画面パスワードが必要です。

- Web アクセスログ確認
- .htpasswd 記載文字列生成
- ディスク容量確認
- パスワード変更
- メールアドレス管理
- データベース操作
- ヘルプ参照

ホスティングサービス管理画面 URL	https://www1.cyberstation.ne.jp/hstsh01/login.cgi
--------------------	---

詳細は「ホスティングサービス(Web)管理画面操作マニュアル」をご覧ください。

問合せ先

CYBER STATION 事務局
0120-318-816 (平日 月~金 10:00~17:00)
info@jrnet.ne.jp